

平成趣味人俱楽部

「三渓園と隣花苑」

アート好きの人たちが気ままにつどう平成趣味人俱楽部。この秋は、明治・大正期にその名を世界に知られた一大趣味人・三渓原富太郎を偲びつつ、横浜本牧の地に遊んでみたいと思います。

「近代日本画」と「古建築」、そして「美食」で知られたかの三渓翁にならい、いろいろな人が折にふれてあつまり、最高のアートとグルメを思いきり楽しもうという趣向です。

原三渓（1868～1939）は、横浜で一二を争う生糸商「亀屋」の家業を継いでいます。富岡製糸工場など近代的な産業を次々と成功させ、巨万の富を築きます。そして海に面した本牧三の谷（これが雅号『三渓』の由来となります）に広大なお屋敷を構えるや、惜しげもなくこれを一般公開しています。

岡倉天心の要請で近代日本画をコレクションしただけでなく、横山大観、下村観山、そして安田靄彦、前田青邨といった当時の新進作家たちをパトロンとして厚く支援しました。また三渓園内に「聴秋閣」を移築するなど、古建築物への深い造詣もありますところなく示しています。

一方、彼の食へのこだわりは大変なもので、和洋中と世界中の美味しいものを食べ歩いたそうです。こうしたグルマンへの道は今日、長女の嫁ぎ先である西郷家を通じ、料亭「隣花苑」に脈々と伝えられています。（ご主人の西郷楨子氏は、原三渓の曾孫さんで、三渓翁が考案した『三渓そば』を忠実に再現できる方です）。

今回は深まりゆく秋を身体全体で感じとろうと、「聴秋閣」（春日局ゆかりの楼閣）、「春草廬」（織田有樂斎ゆかりの茶室）など、三渓園のなかでもとくに重要とされる古建築を間近に体験できるイベントをご用意しました。忙しい現代の日常をはなれいつとき美術の奥義に触れていただくまたとない機会です。皆様お誘い合わせの上、お気軽にご参加いただければと存じます。

● 「三渓園と隣花苑」

日 時／平成 24 年 9 月 29 日 (土)、 10 月 27 日 (土)

場 所／三渓園 横浜市中区本牧三之谷 58-1

隣花苑 横浜市中区本牧三之谷 52-1

12:00 三渓園正門入口集合→12:15~14:00 隣花苑にてお昼食→14:15~16:00 三渓園・内外苑見学→16:00 ごろ三渓園正門入口にて解散

引率者／勅使河原 純、田上恵子

参加費／12,500 円

申し込み先／JT-ART-OFFICE

参加をご希望されます方は下記の□印をチェックし、9月29日の分は9月14日(金)までに、また10月27日の分は10月12日(金)までにJT-ART-OFFICEへ郵送、Fax またはメールでご連絡ください。折り返し「ご案内」をお知らせ申し上げます。

なお、定員に達ししだい受付を打ち切り、参加者が少ない場合は中止することもございますので、予めご承知おきくださいませ。

JT-ART-OFFICE／事務所
武蔵野市中町 1-17-7 三興ビル 401
〒180-0006 Tel・Fax 0422-38-9308
E-mail info@jt-art-office.com
URL <http://www.jt-art-office.com>

.....切り取り線.....

9月29日(土)の分に申し込みます。

10月27日(土)の分に申し込みます。

ご住所

ご氏名

Tel

Fax

E-mail